

R7.3月現在

○職員体制

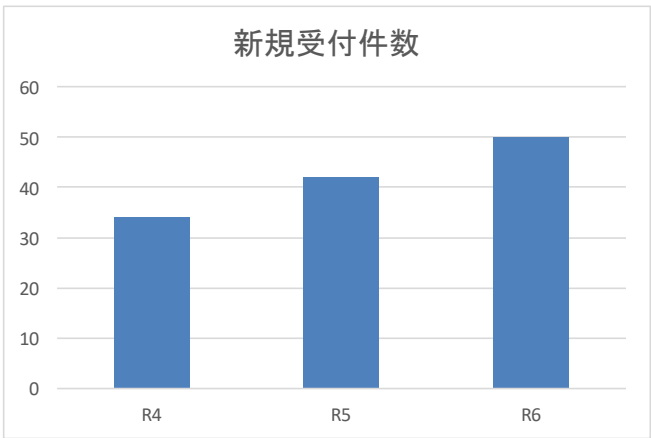
・相談支援専門員 2 名

○障害者相談支援（R6.4.1～R7.3.31）

◆月次件数推移（新規受付件数）図①参照

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
障がい者	4	5	5	5	2	2	8	1	1	2	3	4	42
障がい児	1	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8

※高卒予定者進路相談対象者



図①

図②

◆障害種別件数（図②参照）

	身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他	合計
障がい者	8	6	10	3	1	1	13	42
障がい児	0	6	0	1	0	1	0	8

◆相談経路

	本人	家族	学校	相談 支援 者	サービ ス事 業所	保健所	包括	社協 (困窮)	民生 委員	医療 機関	市役所	その他
障がい者	9	9		5	0	0	2	7	0	1	6	3
障がい児		3	5									

※進路相談

◆転帰

	継続支援	終結	他機関引継	その他
障がい者	19	23	1	0
障がい児	5	1	1	0

○継続相談支援件数 R6.4.1～R7.3.31（年度内終結分含む）

	実 数	内 新規	内 終結
障がい者	62	19	18
障がい児	11	5	5
合 計	73	24	23

○権利擁護に関する支援

<障害者虐待防止支援>

◆件数（年度内）

	受理件数	認定件数	終結件数	継続
件数	4	2	4	0

◆コア会議 9回

<成年後見制度利用促進支援>（基幹相談支援センター対応分）

◆相談支援件数： 4 件

○会議等

◆相談支援事業所会議： 6回

◆障害者支援ネットワーク会議（4地域・隔月、全体会）：地域 16 回 、全体会 1 回
合同開催 2回（園部・八木）（日吉・美山）

◆福祉4センター会議： 4回

○その他会議・研修会等の参加、講師等

	府関係	市関係 （主管課）	市関係 （その他）	南丹圏域障 害福祉関係	その他	合計
参加	3		3	19	5	30
講師等		1			1	2

○進路相談関係

◆支援学校進路相談： 2 校／ 6 回 （ 5 名）

◆一般高校進路相談： 1 校／ 1 回 （ 0 名）

◆地域生活相談（家庭支援総合センター）：1回／1名

令和6年度 基幹相談支援センター 活動報告

- 基幹センター会議 12回（毎月1回）
- 相談支援事業所会議 6回（5/13、7/25、9/26、11/26、1/23、3/11）
- 障がい者ネットワーク会議（4地域・隔月）地域16回、全体会1回（12/11）
合同開催 2回（7/12 園部・八木）、（7/23 日吉・美山）
- 虐待対応 コア会議 9回（福祉事務所）
（5/30、6/3、6/13、6/26、6/27、8/5、9/5、10/31、12/24）
- 支援学校等進路相談
 - ①丹波支援学校 3回（4/22、5/27、11/11）
 - ②舞鶴支援学校 3回（6/4、12/18、3/3）
 - ③京都府立北桑田高校美山分校 1回（6/20）
- 地域生活相談（ケース進路検討会議含む）1回（家庭支援総合センター）
- 福祉4センター会議 4回（7/17、9/30、11/25、2/13）
- その他会議・研修会
 - 4/26(木) ほっとネット運営委員会(保健所)
 - 5/7(火) ほっとネット相談支援部会「あけてガッテン」（丹波支援学校）
 - 5/13(月) 福祉相談課・包括支援センター・基幹相談支援センター連携会議（南丹市役所）
第4回 権利擁護推進会議（南丹市役所）
 - 6/17(月) 相談支援部会フォローアップ研修打合せ（亀岡福祉会お結び）
 - 7/2(火) ケアマネ連絡会 研修講師打ち合わせ
 - 7/22(月) 第2回ほっとネット相談支援部会「あけてガッテン」（亀岡福祉会お結び）
 - 7/26(金) ほっとネット運営委員会（ZOOM）
 - 8/1(金) ほっとネット相談支援部会フォローアップ研修打合せ（亀岡福祉会お結び）
 - 8/8(木) 相談支援専門員現任研修①（京都市みやこメッセ）
 - 8/20(火) ケアマネ連絡会研修講師（アスエル園部）
 - 8/30(金) 相談支援部会フォローアップ研修打合せ（亀岡福祉会お結び）
 - 9/2(月) 第3回ほっとネット相談支援部会「あけてガッテン」（たんば支援学校）
 - 9/17(木)～18(金) 相談支援専門員現任研修③④（京都市みやこめッセ）
 - 10/1(火) 第19回あけてガッテン（福祉事業所説明会）（国際交流会館）
 - 10/8(火) 第1回ほっとネット 精神保健福祉部会（南丹保健所）
 - 10/10(木) ほっとネット相談支援部会コア会議（亀岡福祉会お結び）
 - 10/11(金) ほっとネット運営委員会（ZOOM）
 - 10/17(木) ほっとネット相談支援部会（丹波支援学校）
 - 10/25(金) ほっとネット相談支援部会 フォローアップ研修（クアスポくちたん）
 - 11/6(水) 南丹市成年後見支援者向け研修会（国際交流会館）

- 11/11(月) 丹波支援学校後期進路相談 (丹波支援学校)
- 11/22(金) 相談支援専門員研修「相談支援」っておもしろい!?In 南丹 亀岡市基幹相談支援センター お結び主催(亀岡市役所別館)
南丹市生活困窮者自立相談支援事業研修会(南丹市役所)
- 12/14(土) 高次脳当事者学習会 (松花苑かしのき)
- 12/20(金) ひきこもりを理解する講演会(八木市民センター)
- 12/23(月) 南丹市権利擁護・成年後見センター協議会(南丹市役所)
- 1/23(木) ZOOM 研修「就労選択支援について」(南丹市役所)
- 1/28(火) 第2回 ほっとネット精神保健福祉部会(京丹波町役場)
- 2/15(土) 精神保健福祉推進交流・学習会 講師(「ご本人・ご家族との関わりから」)
(国際交流会館)
- 2/19(水) 障害者相談員交流会 研修講師(「意思決定支援」について) (南丹市役所)
- 3/5(水) 南丹つぼみ会 意見交流会(南丹市役所)
- 3/12(水) ほっとネット精神保健福祉部会研修 (亀岡ゆう薬局会)
- 3/14(金) ほっとネット相談支援部会コアメンバー会議 (亀岡障害者相談支援センターお結び)
- 3/21(金) 第5回ほっとネット運営委員会 圏域虐待防止研修・全体会 (ZOOM)

令和7年度 基幹相談支援センター 事業計画

○南丹市障害者基幹相談支援センター

【役割】

- ①総合相談・専門相談 ②地域の相談支援体制強化の取り組み ③地域移行・地域定着
④権利擁護・虐待防止

【R7年度 活動予定】

○基幹相談支援センター会議 … 毎月1回実施

全体的なケースの状況を共有・把握し、分析を行う。障がい者支援ネットワーク会議など各会議の方向性や会議内容の精査などを実施する。

○南丹市障害者相談支援事業所会議 … 2か月に1回 定期開催

- ・相談支援の質の向上及び南丹市の相談支援が継続できるよう後方支援、フォローアップのため定期的な事例検討を実施し、事例検討を定着させることでケースを深めて向き合う力をつける。

- ・相談支援専門員が視野を広げ、地域の現状に関心を持つ姿勢を養う
- ・障がい者支援ネットワーク会議等で出た課題について共有、意見交換を行う。
- ・親亡き後、高齢化などライフステージ、ライフサイクルを見越しての支援方針の視点を持っておけるようにする。
- ・相談支援専門員が「気軽に聞きあえる」関係性作りを意図的に行い、複雑な課題を抱える利用者対応への抱えこみを防ぐ。

○南丹市地区障害者ネットワーク会議

- ・各旧 4 町にて 2 ヶ月に 1 回定期開催、全体会年 1 回実施。
- ・継続して地域のネットワーク作りと交流をはかり、地域課題の抽出を行う。
- ・R7 テーマ「改めて自立支援を考える」
「自立」につながる支援、家族支援について学ぶ
- ・全体会を通して事業所内での業務・支援に対する意識を高め、主体的に南丹市の地域福祉を考えていける人材・事業所育成を目指す。

○地域活動支援センター会議 … 毎月 1 回

- ・利用者ニーズの整理（ケース情報や利用目的の整理）を行い、地域ニーズを捉える。
- ・全体的なケースの傾向を把握し、個別支援や地域課題について地域活動支援センターだからこそできること、専門性を一緒に検討していく。

○自立支援協議会（年 3 回）

- ・ネットワーク会議で抽出した課題を相談支援事業所で深め、自立支援協議会で発信する。

○他機関連携会議

【福祉 4 センター会議】

- ・ネットワーク会議、相談支援事業所会議、自立支援会議で吸い上げた地域課題について重層的な体制をイメージし地域包括、基幹相談、福祉相談課、生活相談センターと取り組めることを検討

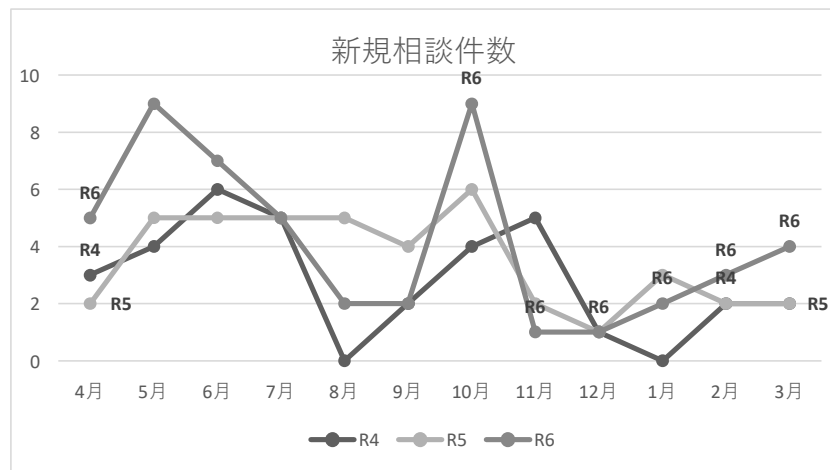
○南丹市委嘱相談員交流会 … 不定期

関係機関に障がい相談員の強味や役割を発信する。
何か相談等あれば一緒に考える。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
成人	身体	1	1					1	1	1		2	1	8	19.0%
	知的	1	1	2	1	1								6	14.3%
	精神		1	2	1	1		3					2	10	23.8%
	発達	1	1		1									3	7.1%
	高次脳				1									1	2.4%
	難病			1										1	2.4%
	その他	1	1		1		2	4			2	1	1	13	31.0%
	小計	4	5	5	5	2	2	8	1	1	2	3	4	42	100.0%
児童	身体													0	0.0%
	知的		4	2										6	75.0%
	精神													0	0.0%
	発達	1												1	12.5%
	高次脳													0	0.0%
	難病							1						1	12.5%
	その他													0	0.0%
	小計	1	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	100.0%
月合計	5	9	7	5	2	2	9	1	1	2	3	4	50		
累積	5	14	21	26	28	30	39	40	41	43	46	50			
うち進路相談件数														5 件	

[illegible]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R4	3	4	6	5	0	2	4	5	1	0	2	2	34
R5	2	5	5	5	5	4	6	2	1	3	2	2	42
R6	5	9	7	5	2	2	9	1	1	2	3	4	50



第6回 障がい者支援ネットワーク会議 全体会 まとめ

1. 実施日： 令和6年12月11日（水）13：30～16：30
2. 会場： 南丹市役所 2号庁舎 3階 301会議室
3. 参加者数： 36名
4. 講師： 南丹圏域障害者総合相談支援センター結丹 和田誠司 GM
5. 主催： 南丹市障害者基幹相談支援センター・南丹市社会福祉課
6. 研修内容： グループワーク（ロールプレイングすごろくゲーム）
講義（ゲーム結果を振り返りながら、本人を中心とした地域生活を考える）
7. 研修まとめ

<アンケート結果にて多かった内容>

①人生に寄り添う

「その人の人生にフォーマル・インフォーマル含め、長い目で寄り添っていくこと」

②地域共生について考える

「フォーマル側だけでは出来ないことを、インフォーマルの方がいる事でスムーズに出来る。フォーマル・インフォーマルが南丹太郎さんに与えるだけでなく、南丹太郎さんがいる事で、インフォーマル側が助かっている事もある。まさに『持ちつ持たれつ』の関係が成り立っている」ことを感じた。

③視点の広がり

「ゲームを通じて各役割の意見を聞いたり提案を聞き、多様な考えや見方が出来て勉強になった」
→「地域共生社会」をイメージするきっかけにして貰いたい。

一人の方を支えるためにインフォーマルも含めて多くの方との繋がりが必要であり、日頃の支援の中でも意識をしておいて貰いたい。

